

市民公開講座 第37回有壬セミナー

アルペンスキーヤー

みな が わ け ん た ろ う

皆川賢太郎 講演会



「未来を掴む3つの力」



自分を信じる力

競技生活を通じての挫折と復活、
ソルトレイクオリンピックの後の怪
我から学んだ人としての“本当の価値”に
ついて、お話しします。



プロフェッショナルの力： 組織にも役立つ主体的行動の 大切さについて

プロフェッショナルの誇りを持って仕事をするこ
とは、仕事で成果を残すためには欠かせないものです。
また全員が同じ意識で、目的に向かっていくのがブ
ロの集団であり、強いチームです。スキーヤーとして、
社会人として第一線でプロとして活動してきた実際
の実例を踏まえて、プロフェッショナルの心得をお
話しします。



VISIONの力

VISION（目的）を持つか持たないかで人生も仕事の
成果も大きく変わります。自身の今後のVISIONを語
りながら、VISIONの重要性をお話しします。

プロフィール

1977年新潟県湯沢町出身。北照高校（北海道小樽市）、日本体育大学卒業。
2001年、日本人4人目の第一シード入りを果たし、若くして日本のエース
としての地位を確立していたが、ソルトレイクオリンピック後に左膝前十字
靱帯断裂の大怪我を負う。長期の戦線離脱を余儀なくされるものの、懸命
なりハビリの結果、04年に競技に復帰。従来の長いスキー板からカービン
グスキー（短い板）に一早く切り替えた結果、04～05年シーズンW杯第8
戦で4年ぶりとなる入賞。さらに05～06年シーズンW杯では自己最高とな
る4位を筆頭に安定した成績を残し、トリノオリンピックでは3位と100分の
3秒差の4位に入り、日本人として50年ぶりの入賞を果たした。
しかし、バンクーバーオリンピックに向けスタートを切った矢先、右膝前十字
靱帯を損傷し、再び戦列をはなれた。適切な治療とリハビリにより、当
初の予定より2ヶ月も早く雪上に復帰し、07～08年シーズンのW杯全戦に
出場。バンクーバーオリンピックでは攻めの滑りで挑むも、一本目で途中棄
権となる。オリンピック直後、現役続行を表明し、11～12シーズンより実
戦復帰を果たし、12～13シーズンはFar East Cupで総合優勝を果たす。

■日時：令和5年 **9月9日(土)**
午後3時30分～5時30分

■会場：新潟市民プラザ Next21ビル 6階
〒951-8061 新潟市中央区西堀通6-866
TEL:025-226-5500(代)

■定員：300名〔要申込み〕 ※定員に達し次第、受付終了となります。

■申込：往復はがきに下記をご記入の上、お申込み下さい ※お一人様1枚
(Webからもお申込みいただけます)

返信(表)……申込者〒、住所、氏名 ※返信裏面は記入しないで下さい

往信(表)……〒951-8510 新潟市中央区旭町通1-757 新潟大学医学部学士会

往信(裏)……申込者〒、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記

参加費無料

学士会ホームページからも
お申込みいただけます



お問い合わせ先／新潟大学医学部学士会 TEL.025-227-2037 <https://www.med.niigata-u.ac.jp/yujin/>

主催 新潟大学医学部学士会 新潟医学会 公益財団法人新潟医学振興会

学士会 新潟

検索